

第 1 章 調査の概要

第1章 調査の概要

1 調査の目的

次世代育成支援対策推進法に基づき平成17年3月に策定した「熊本県次世代育成支援行動計画」は、平成17年度から21年度までの前期計画という位置づけであり、平成21年度に22年度から26年度を計画期間とする後期計画を策定することとされている。

このため、後期計画策定にあたり、子育て家庭をはじめとする各年代の意識やニーズの把握等を行い、今後の次世代育成支援対策の基礎資料を得るため実施した。

2 調査の方法

- (1) 小学校入学前児童の保護者、小学生・中学生の保護者及び高校生を対象としたアンケート調査
- (2) 幼児保育を学ぶ大学生、子育て支援の関係者など、日頃子育てに関わりの深い人達を対象としたグループインタビュー調査

3 アンケート調査の概要

(1) 小学校入学前児童の保護者の意識調査

- ①対象：県内に居住する0歳から6歳の児童（H14年4月2日～H20年9月30日生）の保護者
- ②抽出方法：県内47全市町村の0歳から6歳までの人口比により標本数3,000を按分して、市町村ごとの標本数を決定し、各市町村の住民基本台帳に基づき無作為抽出（人口：H17国勢調査）
- ③調査項目：基本項目、子育ての現状、子育てと就労、小児医療、子育ての費用、公的相談機関や関係法令等の認知度、意見等自由記述
- ④調査手法：郵送による配布、回収
- ⑤調査期間：平成21年1月
- ⑥回収結果：回収率62.2%（標本数3,000に対し、有効回収数1,865）
*前回調査(H15年度)回収結果
：回収率43.9%（標本数5,055に対し、有効回収数2,217）

（2）小学生・中学生の保護者の意識調査

- ①対 象：県内に居住する小学生・中学生（H5年4月2日～H14年4月1日生）の保護者
- ②抽出方法：県内47全市町村の7歳から15歳までの人口比により標本数3,000を按分して、市町村ごとの標本数を決定し、各市町村の住民基本台帳に基づき無作為抽出（人口：H17国勢調査）
- ③調査項目：基本項目、子育ての現状、子育てと就労、小児医療、子育ての費用、公的相談機関や関係法令等の認知度、意見等自由記述
- ④調査手法：郵送による配布、回収
- ⑤調査期間：平成21年1月
- ⑥回収結果：回収率59.7%（標本数3,000に対し、有効回収数1,792）
*前回調査（H15年度）回収結果
：回収率39.0%（標本数5,038に対し、有効回収数1,967）

（3）高校生の意識調査

- ①対 象：県内の高校1年生、2年生
- ②抽出方法：県内の各圏域の高校数に応じて比例按分し、学科等が偏らないよう18校抽出。
- ③調査項目：基本項目、生活環境、家族観・結婚観、仕事観や将来、意見等自由記述
- ④調査手法：各高校に郵送による配布、回収
- ⑤回収結果：回収率100.0%（標本数1,194に対し、有効回収数1,194）
*前回調査（H15年度）回収結果：
回収率100.0%（標本数1,268に対し、有効回収数1,268）

4 アンケートの集計・分析について

●前回調査との回収率の比較

	小学校入学前 児童の保護者	小学生・中学生 の保護者	高校生
平成20年度	62.2%	59.7%	100.0%
平成15年度	43.9%	39.0%	100.0%

平成 15 年度に行った同様のアンケート調査と比べ今回は回収率が 60%前後となっている。郵送方式の調査としては高い回収率と言える。このことから、「次世代育成支援」への関心の高まりが窺える。

※注

図中の【前回比較】は、前回調査と同じ設問での回答の比較を行っている。

図中の「n」は回答者数を示している。回答の選択によって枝分かれし該当者のみが答える設問を設けているため、「n」が全体の回答者数と異なる場合もある。

また、複数回答の場合は、回答者数を分母とし、構成比が 100%を超える。

5 グループインタビュー調査の概要

子育て当事者、および子育て支援に関わっている主として女性を対象にグループインタビューを行った。

晩婚化・非婚化の理由、子どもを多く生まない理由など、少子化の理由や課題を始め、子育て支援に関して有効と思われるアイデアを出していただき、それを深めるかたちでインタビューを進めた。

調査対象グループ

1. 子育て支援ボランティアグループ（玉名市）
2. 子育て当事者・子育て支援関係者（宇土市）
3. 子育て当事者・子育て支援者（八代市）
4. 大学生グループ（熊本学園大学子ども家庭福祉学科の大学生・大学院生）

主なインタビュー項目

- ・晩婚化・非婚化の理由
- ・子どもを多く生まない理由
- ・子育て支援に関するアイデア

インタビューの進め方

- ・話された意見をカードに記入して応用紙に整理しながら、考えやアイデアの掘り下げを行った。